

愛知県図書館企画展示

明治はいかに英語を学んだか

日本における英語学習の歴史は、オランダ語と比べそれほど古くありません。幕末から明治維新の頃に私たちの先祖が英語を学び始めてから、まだおよそ150年にすぎません。今回の展示では、英語の学問すなわち「英学」がどのようにして始まり、広まっていったかを、主に辞書の歴史からたどるものです。

この地方で初めて英語を習得し国際人として生きたであろう知多美浜の漂流民・音吉おときちの生涯や、日本で最初に作られた英和辞書に関するエピソードを紹介しながら、英学黎明期の辞書のほか、英学史に関する図書なども展示し、幕末・明治から大正にかけて、辞書編さんに携わった人々の足跡を見ていただきます。



平成20年1月11日(金)～2月27日(水)
愛知県図書館 2階ロビー 入場無料

関連企画 講演会「明治はいかに英語を学んだか」

日時:平成20年1月27日(日)午後1時30分から3時まで

場所:愛知県図書館 1階AVホール

講師:愛知大学大学院 はやかわいさむ 早川勇教授(展示資料提供・監修)

(詳しくは裏面をご覧ください)



【お問合せ先】

愛知県図書館 総務課企画グループ

〒460-0001 名古屋市中区三の丸一丁目9番3号

Tel 052-212-2323 Fax 052-212-3674

URL <http://www.aichi-pref-library.jp/>

地下鉄/鶴舞線または桜通線「丸の内」下車8番出口
市バス/名古屋駅ターミナルから幹名駅1・名駅14
「愛知県図書館」下車

(図版は明治22年『絵合当物智恵すすめ』より)

